



2025年11月7日

## 肥後銀行創立100周年記念事業～第14弾～ 肥後銀行データセンターの建設について

2025年7月25日に創立100周年を迎えた肥後銀行は、創立100周年記念事業の一環として、地域のお客さまもご利用いただけるデータセンターを建設することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、100周年スローガンのもと、地域のお客さまに100年の感謝を伝え、当行が起点となり地域とお取引先とを繋ぐ場、未来を担う若い世代の輝く場の創出を目指してまいります。

### 記

#### 1. 目的

当行は熊本地震や豪雨災害などの自然災害の経験を踏まえ、災害に強いITインフラを構築し、地域企業の事業継続性を向上させることを目的として、当行のみならず地域のお客さまも利用可能なデータセンター（以下「DC」）を新たに建設いたします。

地域のお客さまがデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する中で、セキュリティや安全性を備えたDCは重要なインフラであり、最新技術を採用したDCを地域内に整備することで地域全体のDX推進を支援します。さらに、環境への配慮として、省エネ技術や再生可能エネルギーを活用し、ゼロカーボンを実現する取り組みも進めてまいります。

肥後銀行は、このDC建設を通じて銀行システムの健全性を確保しつつ、地域企業や熊本地域全体の発展を支えるとともに、持続可能な地域社会の構築に貢献してまいります。

#### 2. DCの主な特徴

##### （1）災害に強い構造

- ①震度7クラスの地震に対しても運用可能な免震構造
- ②電気設備の冗長化に加え、非常用発電機による電源バックアップ
- ③電気・通信設備、サーバールーム等の重要設備を全て建物の2階以上へ設置

##### （2）高いセキュリティ水準

- ①敷地入口からサーバーラックまでの多段階のセキュリティチェック
- ②DC内統合監視センターでの24時間365日監視体制の構築
- ③技術者の常駐による緊急時の迅速対応

##### （3）各種DC評価基準等への準拠

- ①J D C Cファシリティスタンダード「ティア4」相当
- ②金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準（FISC 安全対策基準）

### 3. 運用開始予定

2029 年 1 月

### 4. 設備概要

所在地	熊本県熊本市
運用開始	2029 年 1 月予定
建物構造	建物免震
延床面積	4,200 m <sup>2</sup>
ラック数	約 260 ラック（GPU 高集積サーバー設置にも対応） ※うち約 200 ラックは地域のお客さま賃貸サービスを提供予定
床荷重	約 1,500kg/m <sup>2</sup>
電源設備	無停電電源装置：冗長構成 非常用発電機：冗長構成 無給油連続運転時間：72 時間
供給電力	実効 4.5kVA/ラック（30.0kVA 程度の GPU サーバーも設置可能）
空調設備	冗長構成
付帯設備	サーバーアクセスブース、キitting作業室など
セキュリティ	24 時間 365 日有人監視、各種ゲート、生体認証、監視カメラなど
通信回線	マルチキャリア、複数系統により引込
基準	・JDCC ファシリティスタンダード ティア 4 相当 ・FISC 安全対策基準適合 （金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準）
災害対策	・耐震グレード「特級」、震度 7 クラスまで耐えうる構造 ・熊本市ハザードマップ基準上の浸水リスクを建物構造対策により回避

以上

#### 《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 総務部	担当：布田	電話：096-326-8633
デジタルソリューション部	担当：石松	電話：096-326-8651